



植之原 道行 (うえのはら みちゆき)

1925年～2007年

1925年鹿児島県生まれ。1949年日本大学工学部電気工学科卒業。1956年オハイオ州立大学大学院博士課程修了、博士号の取得。東北大学工学博士。日本大学工学部助手、オハイオ州立大学研究助手、日大講師を経て、1957年ベル電話研究所に研究員として入社。マイクロ波超低雑音増幅器の開発と衛星地上局、アメリカ大陸防衛レーダー網への実用化を体験する。

1967年日本電気株式会社に中央研究所電子デバイス研究部長として入社。1972年同社理事兼中央研究所長。1976年取締役として技術経営に従事、1980年常務取締役、1982年専務取締役、1987年代表取締役副社長に就任。1989年取締役副社長最高技術経営者を辞任し特別顧問となる。顧問を務めるとともに1993年多摩大学大学院教授として社会人の教育に従事。1998年同大学名誉教授。

1994年より植之原留学生奨励賞を開設。

<対外的な活動>

科学技術庁科学技術会議委員
文部省大学審議会委員
通産省産業構造審議会委員
郵政省電気通信技術審議会各委員
電子通信学会理事
テレビジョン学会評議員
日本工学アカデミー国際委員会委員長 など

<主要著書>

「マイクロ波半導体デバイス」 コロナ社、編著(1971)
「固体マイクロ波素子」 工業調査会、共編(1973)
「オプトエレクトロニクスへの挑戦」 工業調査会、編(1974)
「研究・技術マネジメント-基礎から実践まで-」 コロナ社、共著(1995)
「戦略的技術経営(MOT)のすすめ」 日刊工業新聞社、著(2004) 他論文多数

<受賞>

第51回電子情報通信学会功績賞(1990)
93年度高柳記念賞(1994)
マイクロウェーブ・パイオニア賞(1994)
フレデリック・フィリップス賞(1996)
紺綬褒章(1997) など